



令和4年度 唐津市立鬼塚小学校 教育全体構想

学校教育目標

笑顔いっぱいの学校づくり

～温かい心で認め合い、目標に向かって挑戦する子どもの育成を目指して～

◎めざす児童像

自己肯定感に満ちた「笑顔」いっぱいの子ども
互いのよさを認め協力し合う子ども
～「笑顔」になるための自分つくり～

◎めざす教師像

子どもの「笑顔」つくりの為に努力を
惜しまない教師
～支え合い、高め合う教師集団つくり～

◎めざす学校像

安心・安全で、信頼される鬼塚小学校
～すべての子どもが笑顔で通える学校つくり～

唐津市教育委員会

令和4年度

学校教育の重点課題

- ◎ 主体的・対話的で深い学びの推進
- ◎ 心の教育の充実
- ◎ 学校、家庭、地域の役割分担と相互連携
- ◎ ICT を利活用した教育の推進
- ◎ 特別支援教育の充実

本年度 鬼塚小学校スローガン

「すべては子どもたち
の笑顔のために」
学校、保護者、地域が手を携えて、子どもの「笑顔」つくりのために、考えて行動する。

本校教育の重点

知	考える力	<ul style="list-style-type: none">① 授業中の「学び合う活動」の充実（主体的・対話的な深い学び）② 「できた。」「わかった。」という充実感を持たせる授業の実践③ 基礎・基本の定着と活用力の向上を目指した家庭学習の推進
徳	心の力	<ul style="list-style-type: none">① 自己肯定感を高める取組の充実（集会等での子どもの出番つくり）② 心の教育の推進<ul style="list-style-type: none">・ 道徳科の授業を要とした道徳教育の充実・ 人権・同和教育の充実③ 特別支援教育の充実（特別支援教育部を核として）
体	体の力	<ul style="list-style-type: none">① 健康な体つくりの推進（歩いて登校、体育活動の充実）② 基本的生活習慣の定着（保護者との連携）③ 食育の推進（給食やおにぎりの日）
開かれた 学校づくり		<ul style="list-style-type: none">① 「いきいき学ぶからつ子育成事業」の実践<ul style="list-style-type: none">・ 地域の教育資源の活用（体験活動の充実）・ 地域行事への参画・ 公民館との連携③ 地域ボランティアとの連携（登下校見守り、学習ボランティア）
学級づくりの充実		<ul style="list-style-type: none">① 「笑顔」の学級集団作りと学級目標の実現② 発達段階に応じた指導の充実<ul style="list-style-type: none">・ 人間関係構築、基本的生活習慣・授業規律の確立③ 個に応じた指導の充実（Q Uアンケートの活用）
保護者との連携		<ul style="list-style-type: none">① 情報の積極的な発信（各種便り、HPの活用）② 保護者からの要望、苦情等への即時かつ組織的な対応③ P T A活動の充実（職員と保護者の連携強化、活動内容の精選）

令和4年度唐津市立鬼塚小学校 教育全体構想具現化に向けた目標設定

めざす学校像		笑顔いっぱいの鬼塚小学校 ～温かい心で認め合い、目標に向かって挑戦する子どもの育成を目指して～	
教育目標	経営目標	中・長期目標	短期目標・手立て
「笑顔」の子どもつくり ～自己肯定感を高める教育を通して～	児童	学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学習に取り組み、対話を通して深く学ぼうとする態度を育成する。 基礎的な知識・技能の定着を図る。 学んだことを生かし進んで課題を解決使用とする態度を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> 「学力・授業力向上プラン」を元に授業改善を図り、主体的・対話的な深い学びの場を作る。 職員相互の「授業参観」を通して、互いの授業実践を振り返り、成果・課題を共有する。 全国・県学力調査、標準学力調査の分析により、授業の改善に取り組む。
		豊かな心・健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> 自他を大切にする態度を育成する。 社会の一員であるという自覚と規範意識を育成する。 児童同士、互いに協力し合いながら物事を進める態度を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> 児童同士が良さを互いに自覚し合える学級集団づくりに取り組む。 常に学級目標を意識した教育活動を展開する。 児童の出番を多くした学校行事を工夫する。 道徳授業の改善を図る。(校内研究の充実) 系統性を重視した意図的・計画的な健康教育と体育活動を行う。
	教職員	能力開発・資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 教師自身が「元気に笑顔」で学校生活を送る。 職務課題を自覚し、解決する能力を育成する。 授業実践力・生活指導力の向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> 職場のコミュニケーションを大切にすると共に、健康的な勤務体制を構築する。 学期毎に現状分析を行い、目的と具体的な方策を検討し、改善を図る。 積極的に校外での研修を推奨すると共に、OJTの活性化を図る。(各主任、ミドルリーダーの活用)
		組織力向上	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標の具現化に向けて具体的目標を持つ。 組織対応力の向上を図る。 仕事の優先順位をつけ、計画的に職務に取り組む。(仕事時間の有効活用) <ul style="list-style-type: none"> 各部主任の企画力向上を主眼に、提案型の分掌運営を図る。 児童に関わる情報の共有に努め、教育活動に活用する。 「抱え込み」を排除し、チームによる迅速で的確な問題解決を行う。
	家庭・地域	理解・連携・協力	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集、分析、発進力を向上させる。 家庭・地域の参画意識の向上を図る。 家庭・地域との連携事業を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> PTA活動活性化のために、学校職員も積極的に活動に参加する。学習ボランティアとして保護者に参加を依頼し、協力・連携を図る。 「いきいき学ぶからつ子育成事業」の各学年行事を充実させると共に、情報発信の充実を図る。 地域の各種団体の事業に積極的に参加し、双方の関わりを深める。